

1 単元名 みんなの小田原

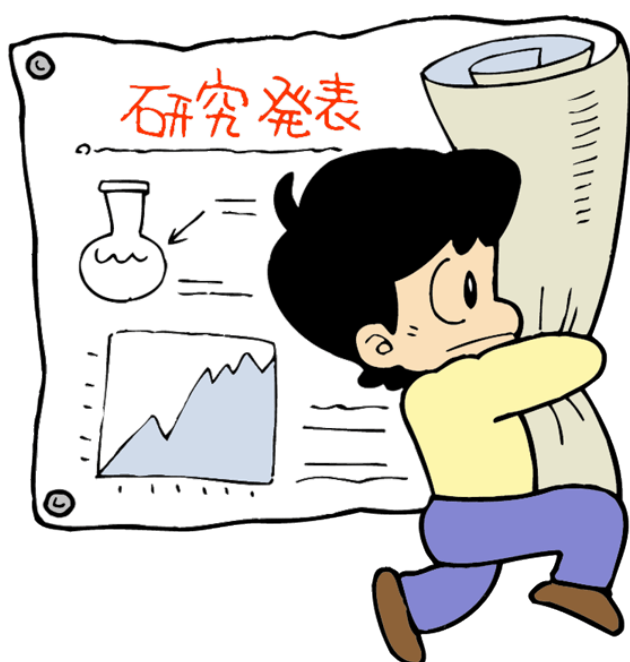
2 単元の評価規準

探究する力	かかわる力	自分に生かす力
数ある情報から、自分が必要としている情報を取捨選択し、理解できる。	- 情報交換を通して、新しい発見に気づき、進んで取り入れることができる。 - グループ活動の中で、よりよい発表のために協同的に活動に取り組むことができる。	- 活動に対して、自分事のように取り組むことができる。 - 友だちの意見を取り入れながら、よりよい活動にしていくことができる。

3 教材のとらえ

子どもたちは、小田原には城やかまぼこなど有名なものがあると知っているが、なぜ有名になっているのか理由まで知っている子は少ない。それらを調べることで、本学級の子どもたちも小田原という歴史的にも、地理的にも恵まれた土地に住んでいることを認識し、地元を愛する気持ちを育てていきたいと考えている。また、みんなが住んでいるまちをテーマに学習を進めることは、どの子も身近でイメージしやすいという利点がある。そのため能力の差が大きい学級でも経験が似ていたり、知っていることが多かったりするためどの子も安心して学習に取り組めると考えた。

単元の流れとして、始めに調べ学習を入れている。調べ学習は初めてなので、どのように、何を使って、何がキーワードなのかなど、丁寧に確認することで、今後調べ学習をするためのベースになるものを育てていきたい。後半には、見学や体験などを計画し、調べて学んだことを、実際に見たり、触れたりすることでさらに新しいことに気付いてほしい。終盤の発表準備では、残された時間でできる、より良い発表方法を考え、計画的に活動を進めてほしいと考えている。



4 本時の指導案

本時の目標 「アンケートの結果をもとに、自分たちの発表の改善策を考えることができる」

本時の学習

学 習 活 動	教 師 の 支 援
1. 隣のクラスの反応を知る。 「アンケートの結果をグラフにしたかた見てみよう。」 ・3や4が多いからよく分かったんだね。 ・けど2も少し多いのかな。 「アンケートを見てみてどうだった？」 ・ほめてくれているけど、難しかったって書いてあった。 ・もっと内容を分かりやすくしないとイケないな。 2. 発表の改善策を考える。 次の発表に向けて、さらに良くなる方法を考えよう 「それぞれの分担で話し合っ、発表を良くするアイデアを考えよう。」 【五代】・なんで周りの国と戦ったのか理由を話したほうがいいな。 【しくみ】・1番伝えたいことを考えて、詳しくしたいな。 【作り方・材料】 ・低学年がわかるようにクイズの内容を考え直そう。 【おいしさ】・難しい言葉を直したり、クイズの答えに説明を入れたりしたいな。 【職人】・体験して難しかったところをもっと話したほうが、職人さんのすごさが伝わるな。 「グループに戻って、分担で考えた工夫を確認しよう。」 ・私達も説明を簡単にしようってアイデアがでたよ。 ・もっと詳しい説明していこう。 3. グループでまとめた工夫を発表する。 「グループで出た工夫を発表しましょう。」 ・私たちのグループでは、分かりやすい説明をすることやクイズの答えの説明をするって工夫が出ました。 ・私たちは説明をもっと詳しくすることやクイズを2択にするという工夫がでました。 「発表がもっと良くなる工夫は見つかったかな？」 4. 振り返り 「今日の学習で考えたことを教えてください。」 ・みんなとアイデアを考えられてよかった。 ・早く手直しをして、低学年への発表を頑張りたい。 ・今日考えた工夫を生かせば、もっと良い発表になりそう。	○いつでもグループになれる体型から始める。 ○“少し分かった”のグラフに気が付いたところで、詳しいアンケートの結果に目を通させる。 ○次は低学年への発表になることを確認する。 ○分担で工夫を話し合い、グループで意見を共有する時間を取ることを確認する。 ○分担で考えた工夫はワークシートにメモさせる。 【思考・判断・表現】 ・アンケートをもとに、発表内容の改善を考えることができる。 (発言・ワークシート) ○分担で出たアイデアをまとめるワークシート(グループに1枚)を配布する。 ○グループで工夫を紹介する人を決めておくことを伝える。 ○“分かりやすい”など曖昧な言葉に対して「分かりやすい説明ってどんな説明がいいのかな？」など問い返して、イメージを確認する。 ○工夫が考えられなかったグループなどあれば学級全体で考えるよう問い返す。